

第4学年国語科学習指導案

日 時 平成18年9月29日(金) 5校時
児 童 男子6名 女子6名 計12名
指 導 者 高橋 陵

- 育てたい能力
◎登場人物の様子と場面の様子を、作品の中の大事な言葉に気をつけて想像しながら読む(読 ウ)
○表現したり理解したりするために必要な語句を増し、また、語句には性質や役割の上に類別があることを理解すること(言 エ(ア))

- 単元名 場面を比べて読もう
教材名 「一つの花」 今西 祐行 作 松永 禎郎 絵

3 教材について

(1) 児童について

これまで児童は、読むことの活動として、読みの視点をみんなで話し合い、共通視点を設定し、その視点に沿って大事な言葉や文を見つけ、そこから分かる登場人物の気持ちや様子を読み取る活動を行ってきており、叙述に即して想像しながら読むことができるようになってきている。

①読みの視点について

児童はこれまで、「三つのお願い」では登場人物の行動や会話文、様子を読み取りの視点として設定し、ゼノビアの気持ちを想像しながら読み取る学習を行った。また「白いぼうし」では、「かたをすぼめて」や「もぎたてなのです。」など松井さんの行動・会話・様子の他に、より具体的に「まほうのみかんと思うかな」などの松井さんが想像している所や「あたたかい日の光をそのままそめつけたような」などの夏みかんの様子という読みの視点を定め、松井さんの優しく思いやりのある人柄や想像力豊かで楽しい人柄、松井さんの気持ちなどを想像しながら読み取る学習を行った。これらの学習により、登場人物の気持ちや人柄を読む時には、登場人物の行動や会話、様子を読み取りの視点にしていくことで、読み取ることができることを学んだ。しかしながら、課題に対して読みの視点を自分なりに考えたり、行動文や会話文、様子を表す文の中の特にどの言葉に着目して読んでいったら良いかという、より具体的に焦点化された読みの視点を考えたりするまでには至っていないのが実態である。

②一人学びについて

一人学びについては、読みの視点に沿って大事な言葉や文を見つけ、サイドラインを引き、その言葉や文から分かる登場人物の気持ちや人柄を書き込むという学習を「三つのお願い」や「白いぼうし」で行ってきた。その結果、読みの視点に沿って、大事な言葉や文を見つけることはできるようになってきている。しかし、見つけた言葉を手がかりにして豊かに想像をし、分かったことや考えられる事を、自分の言葉で書き込む力はまだ十分には育っていない。児童の書き込みの実態として、その言葉の意味や言い換えだけの書き込みで終止してしまう児童が多く、更に深く読み込んで前後の言葉や文と関係付けたり、文全体に読みを広げて想像したりするまでには至っていない。

(2) 教材について

学習指導要領における第3学年及び第4学年の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容の中心を捉えたり段落相互の関係を考えたりしながら読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」である。本単元では、第3学年及び第4学年の「C読むこと」の指導事項「ウ場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読むこと」を重点目標として取り上げる。

本教材は、ささやかな幸せを無残にも奪い去ってしまう戦争という状況の中でも、絶えることのない人間の深い愛情をしみじみと描いた作品である。場面は①ゆみ子が「一つだけちょうだい」という言葉を最初に覚えた理由が分かる場面、②ゆみ子の将来を心配し、めっちゃくちゃに高い高いする場面、③父親が戦争に行く日の場面、④父親がゆみ子に一輪のコスモスを渡す場面、⑤十年後の場面の5つに分けられる。

表現上の特色として、「一輪のコスモスの花」と「コスモスの花でいっぱい」のように戦争中と戦争後の様子や、プラットホームでの見送りの様子など、対比的な表現が多く見られる。これらの対比的表現に着目させることにより、ゆみ子の家族の様子や両親の思い、戦争中と戦争後の様子を想像豊かに読み取らせることができる。また、比喩表現やダッシュは、読み手に豊かな想像を促し、指示語や接続語は、作品の展開や様子を捉える上で効果的に活用されており、それらを手がかりに読みを深めることができる。これらのことから、本教材は「場面の移り変わりや情景を、叙述を基に想像しながら読むこと」に適した教材であるといえる。

(3) 指導について

《本校の研究に関わって》

①読みの視点について

ゆみ子一家の様子や両親のゆみ子に対する思いを読み取っていくために、読みの視点を、ゆみ子や両親の行動・会話・様子に加えて、児童に戦時中の特別な生活・社会状況や戦争後との違いを読み取らせていくために、情景描写や時代背景なども読みの視点として設定していきたい。また、言語事項としてダッシュにも着目させていきたい。視点設定の段階では、視点に繋がる課題文中の言葉に着目させ、共通視点に導くようにしたい。

②一人学びについて

一人学びでは、読みの視点に沿って大事な言葉や文を見つけサイドラインを引き、それをノートに抜き書きし、その大事な言葉から分かるゆみ子一家の様子や両親の思いなどを書き込ませたり、ダッシュに続く言葉を想像し補わせたりする活動をさせていきたい。また、自由に想像し自分の言葉で書き込む力を育てていくために、その前後の言葉や文と関係付けたり、文全体に読みを広げて想像して書き込んだりする方法を教えていきながら、更に何をそこに書き込むのか(言い換え・様子・気持ち・情景・理由など)を明確にした指導をしていきたい。

4 学習指導目標と評価基準

	学習指導目標	評価基準
態度・語意への関心	◎戦争中・戦争後の時代背景を考えながら、場面の情景や登場人物の様子を想像しながら読もうとする。	戦争中・戦争後の時代背景を考えながら、場面の情景や登場人物の様子を叙述を基に想像しながら読み取ろうとしている。
読む能力	◎大事な言葉に気をつけ、場面意識をもって登場人物の様子や気持ちを読み取ることができる。(読 ム)	戦争中・戦争後の時代背景を考えながら、場面の様子や登場人物の様子を叙述を基に想像しながら読んでいる。
理解の語・知に技識つ能・い	◎題名や時代背景を理解するために、必要な語句を増やすことができる。	題名や時代背景を理解するために、必要な語句を増やしている。

5 指導計画・評価計画（別紙）

6 本時の指導

(1) 本時の目標

父親の会話や花の様子から、一輪のコスモスに託したゆみ子を心配する父親の気持ちや願いを読み取ることができる。

(2) 具体的評価基準と児童への支援

	A.十分満足できると判断できる状況例	B.概ね満足できると判断できる状況	B に至らないと判断した児童への支援
読むこと	ごみ捨て場のようなところで力強く咲いているコスモスの花のように、美しく、そしてどんなに辛く苦しいことがあっても、生き続けて欲しいと願う父親の思いを想像しながら読んでいる。	一輪のコスモスに託したゆみ子を心配する父親の気持ちを想像しながら読んでいる。	「大事にするんだようー」の言葉に着目させ、なぜそう言ったのか、ゆみ子の将来を考えている父親の姿から、父親の気持ちを考え、書くように助言する。

(3) 本時の指導について

○読みの視点と大事な言葉

読みの視点	父親の会話	花の様子
大事な言葉	・一つだけあげよう・一つだけのお花、大事にするんだようー(ダッシュ)	・プラットホームのはしっぽの・ごみ捨て場のような・わすれられたように

○一人学び

- ・父親の会話に着目し、大事な言葉や文にサイドラインを引く。
- ・ノートに抜書きする。
- ・抜書きした言葉から分かるお父さんの気持ちや、ゆみ子に対する思い、願いを書き込む。

(4) 本時の展開

	学習活動	指導上の留意点(○)及び評価(☆)
つかむ	1 前時の学習を想起する。 ・本当は戦争に行きたくない ・家族と過ごせる時間を大切にしたい	○壁面掲示を示し、前時の学習が思い出せるようにする。 ○前時のまとめ文を発表させ、戦争に行く日の父親の気持ちを想起させる。 ○ゆみ子の「一つだけちょうだい」がまた始まり、お父さんがゆみ子に一輪のコスモスを渡す場面であることを確認する。 ○課題をノートに視写し、黙読・一斉読し課題を意識させる。
	2 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">お父さんがわたしたコスモスの花にはどんな願いがこもっていたのだろう。</div>	

ふかめる	<p>3 学習の見通しを持つ。 ・読みの視点を確認する。 ①お父さんの会話 ○ダッシュの部分 ②花の様子</p> <p>4 学習場面を読む。 (1) 学習場面を音読する。 ・読みの視点に沿って、教科書から大事な言葉や文を見つながら読む。 ・花の様子について読み取る。</p> <p>(2) 一人学びをする。 ・読みの視点に沿って、大事な言葉をノートに抜き書きする。 ・会話文のダッシュや「一つだけ」、「一つだけのお花」などに着目し、お父さんの気持ちや願いを書き込む。</p> <p>(3) 学び合いをする。 ・一人学びをして分かったことを発表する。 ・一つだけという言葉に着目し、一つだけのものについて考える。 ・父親の思いや願いを考える。</p> <p>5 本時のまとめをする。 ・お父さんからゆみ子への手紙として本時のまとめする。</p>	<p>学習範囲（P9L13～P11L13） ○ゆみ子に花を手渡すときのお父さんの言葉やその時の様子に着目させる。 ○課題文の「お父さんは」や「一つの花」に着目させ、共通視点を設定する。</p> <p>○指名読みをし、サイドラインを引かせる。 ○大事な言葉 ・一つだけあげよう・一つだけのお花・大事にするんだようー。 <u>・プラットホームのはしっぽ・ごみ捨て場のよう</u> <u>な・わすれられたようにさいていた</u> ○きれいなところとは言えない、目立たないところに咲いていた花を、お父さんはどうして見つけることができたのか、お父さんの目には、コスモスがどのように見えたのかをとらえさせることにより、考えさせる。</p> <p>○書き込むこと ・強く生きていってね・優しい子になってね・コスモスの花のように力強く育て欲しい・美しい子になって欲しい・この花を大切にしたい・たった一つしかないこの花を大切にしたい ・たった一つ・命や家族</p> <p>○お父さんはなぜ「一つだけ」という言葉を2度使ったのかを考えさせ、たったひとつしかないもの（命や家族など）を大切にしたいというお父さんの願いを読み取らせたい。</p> <p>○前時の学習と関わらせながら考えさせ、豊かに想像し読ませるようにしたい。</p> <p>○読み取った花の様子とお父さんの会話を関係づけながら、お父さんの願いを考えるよう促す。 ☆言：ダッシュの表現に気づいている。（ノート・発言） ☆関：時代背景を考えながら、お父さんのゆみ子への願いを読み取ろうとしている。（発言・態度） （お父さんからゆみ子への手紙） ゆみ子、お父さんはこれから戦争に行くよ。生きて帰ってこれるか分からない。だから、ゆみ子、一つしかないけれど、このコスモスの花のように美しく、そして力強く元気に育てて欲しい。たった一つのこの花を大切にしておくれ。 ☆読：父親の、ゆみ子に対する願いを読み取り、書くことができたか。（発言・ノート）</p>
	<p>6 まとめの音読をする。 7 本時の学び方についてまとめ、次時の学習について確認する。 ・読みの視点、大事な言葉の確認をする 8 自己評価（一人学び、学び合い、まとめ）</p>	<p>○全員で学習範囲を音読させる。 ○読みの視点と言語事項を意識した学び方についてのまとめができるようにする。 ○ノートに自己評価させる。（◎ ○ △）</p>

(5) 板書計画

一つの花 今西祐行

課題

お父さんがわたしたちコスモスの花には
どんな願いがこもっていたのだろう。

読みの視点

- お父さんの会話
- 花の様子

一人学び

書き込み…お父さんの願いや思い(気持ち)

花の様子

フラットホームのはじつぽ
はじつぽ 隅っこ

汚いかんじ 暗い さみしい
ごみ捨て場のようなの所

目立たないところ 誰にも気づかれない
わすれられた花のうしろ

美しい きれいな
強い たくましい
コスモス

学びのこころ

お父さんの会話
「おみ。おみ。おみ。」
「しだけあげよう。」
命や家族

だけのお花、
大事にするんだよね

- ・このコスモスの花のよう美しく、強く育
- ・つってほし
- ・一つだけしかないもの(命)、自分を大切に

まとめ

8	<p>十年後のゆみ子とお母さんの様子を読み取ることができる。</p> <p>○十年後のゆみ子とお母さんの様子を読み取ろう</p>	<p>○戦中、戦後の暮らしの違い</p> <p>○ゆみ子の様子</p> <p>・コスモスの花でいっぱい・お話をしているかのように・お肉とお魚・スキップをしながら・小さなお母さん</p>	<p>関</p> <p>読</p> <p>言</p>	<p>○戦争中と戦後の暮らしの変化や、登場人物の気持ちや様子を読み取ろうとしている。(発言・態度)</p> <p>◎戦争中と戦後の暮らしの様子がどのように変わったのか、ゆみ子がどのように成長したのかを、叙述を基に読み取っている。(発言・ノート)</p> <p>○比喩表現に気づいている。</p>	<p>「一つだけの花」と「コスモスの花でいっぱい」や「いつもおなかをすかして」と「お肉とお魚、どっちがいいの」の言葉を対比させ、またこれまでの学習を振り返ることによって捉えさせる。</p>												
9	<p>「一つの花」という題名の意味について考えることができる。</p> <p>○「一つの花」という題名にはどんな意味が込められているのだろう。</p>	<p>○題名</p> <p>○登場人物の気持ち</p> <p>○戦争</p>	<p>関</p> <p>読</p>	<p>○作品の主題や「一つの花」の意味を考えようとしている。(発言・態度)</p> <p>◎「一つの花」の意味するものや登場人物の気持ち、戦争について触れながら自分の考えを持っている。(発言・ノート)</p>	<p>「一つの花」に込められた父親の願いや思いを振り返らせ、「一つの花」の意味するものを戦争と関連付けながら考えさせる。</p>												
10	<p>感想を交流することができる。</p> <p>○「一つの花」の感想を交流しよう。</p>	<p>○題名</p> <p>○登場人物の気持ち</p> <p>○戦争</p>	<p>関</p> <p>読</p>	<p>○友達の感想を聞き、自分の感想と比べながら、それぞれの違いや良さに気づこうとしている。(発言・態度)</p> <p>◎友達の感想と比べながら、題名についての自分の考えを持っている。(発言・態度・ノート)</p>	<p>友達の考えを聞き、納得のいく考えはほとんど自分の中に取り入れるようにさせる。</p>												

5 指導計画と評価計画